

「#（ハッシュタグ）」とは、SNS等で特定のテーマについて検索して一覧表示する機能のことです。

食育・農育で「みどりの食料システム戦略」をPR！

大分県拠点では「みどりの食料システム戦略」の普及のため、若い世代や子育て世代に身近に感じてもらえるよう、生産から消費までの様々な関係者と連携し理解を深めて行動につなげる取組を進めています。

その他の取組はこちら（大分県拠点HP）



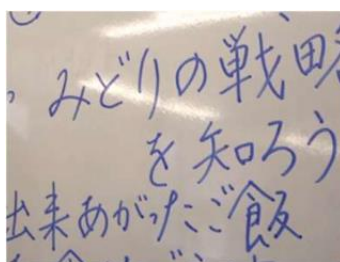
【立命館アジア太平洋大学】🌱



オフィシャルインフルエンサーの（株）Kabosu Companyと料理研究家の坂本薫氏とともに、限界集落の維持やゲストハウスの整備などの地域活性化の取組や郷土料理の継承・発信、食育活動などに関する講話と意見交換を行いました。

【ファミリークッキング】🌱

坂本薫氏が講師を務める教室の小学生親子に対し、食品ロス削減や地産地消の取組、環境にやさしい食品の選択など、消費者として取り組んでほしいことを伝え、環境と調和のとれた農業や消費について理解を深めていただきました。



🌱【大分市立森岡小学校】



農業女子プロジェクトメンバーを主体に、3年生が、かんしょの苗植えを行いました。秋の収穫まで、児童たちがかんしょの成長を観察し、学びを深めていきます。

令和9年度農林水産関係予算概算要求は3兆1,377億円

総額3兆1,377億円（対8年度当初予算比137%）うち「強く豊かな日本」投資枠4,272億円も活用し、食料安全保障の強化等に向け、農林水産業の持続可能な成長を実現するための令和9年度農林水産関係予算概算を要求しました

令和9年度農林水産関係予算概算要求（農林水産省HP）



YouTubeで各予算の説明動画がご覧いただけます。



補助金等の申請システム「eMAFF申請」がリニューアルします！

2026年10月、農林水産省共通申請サービス【eMAFF申請】が大幅にリニューアルします！
約400件の農林水産業・食品産業に関する手続きがオンラインで完結します。新しいeMAFF申請（eMAFF申請2.0）についての詳細は、農林水産省ホームページをご覧ください。

eMAFF申請2.0の5つのメリット

- いつでもどこでも申請できる
- 書類の管理が不要
- 履歴による自動入力
- 入力不備が一目でわかる
- システム内で連絡が完結

農林水産省共通申請サービス（eMAFF申請）（農水省HP）



行政手続を、はやく、かんたんに

eMAFF 申請

見たい！知りたい！九州農業を公表しました

九州各県における食料・農業・農村の現状、主要施策への取組状況や課題・最近の取組事例を公表しています。各地域農業の様々な取組にご利用ください。

見たい！知りたい！九州農業（九州農政局省HP）



2027年3月開幕！GREEN×EXPO2027



（2027年国際園芸博覧会公式ロゴマーク）

～ 地球と。咲きに行こう。～

2027年国際園芸博覧会

- ・神奈川県横浜市（旧上瀬谷通信施設）
- ・2027年3月19日（金）～ 9月26日（日）

・農林水産省公式Xアカウント @MAFF_EXPO2027



・GREEN×EXPO2027公式HP



農業者等との意見交換

～食品ロスを価値に変えて世界へ～

（株）LogStyle

令和8年9月2日

大分県拠点では「現場と農政を結ぶ」ことを目的に生産者・事業者との意見交換等を実施しています。ここでは、その一部をご紹介します。



その他の意見交換はこちら
（大分県拠点HP）



大分市発「ニラ醤油」の輸出に挑戦する食品事業者と意見交換を行いました。同社では、飲食店で辛麺に使用するにらのうち、これまで活用されていなかった根元や茎部分に着目し、2019年に「ニラ醤油」を商品化。現在は、生産者の選別作業で発生したにらの茎部分も活用し、農産物の有効利用と食品ロスの削減に取り組んでいます。

また、国内外の展示・商談会への出展に加え、ロサンゼルスやハワイなどで代表自ら試食販売を行い、海外販路の開拓を積極的に進めています。さらに、にらを粉末化した「ニラパウダー」の開発にも取り組み、未利用資源のさらなる活用や新たな需要創出を目指しています。



大分県拠点へお気軽にご相談ください！

九州農政局大分県拠点
地方参事官室

〒870-0047 大分市中島西1-2-28

TEL 097-532-6131（代表） FAX 097-532-6281

URL <https://www.maff.go.jp/kyusyu/oita/index.html>

